

赤坂山 & 青葉山 NO.1.



< I 日目(赤坂山) >
(ハイライトシーン)

※弥生班 計6名

[※ 実施日--2025年5月12日(月)~13日(火)]

① (メタセコイア並木)



② (マキノ高原登山口)



③ (マキノ高原を眼下に)



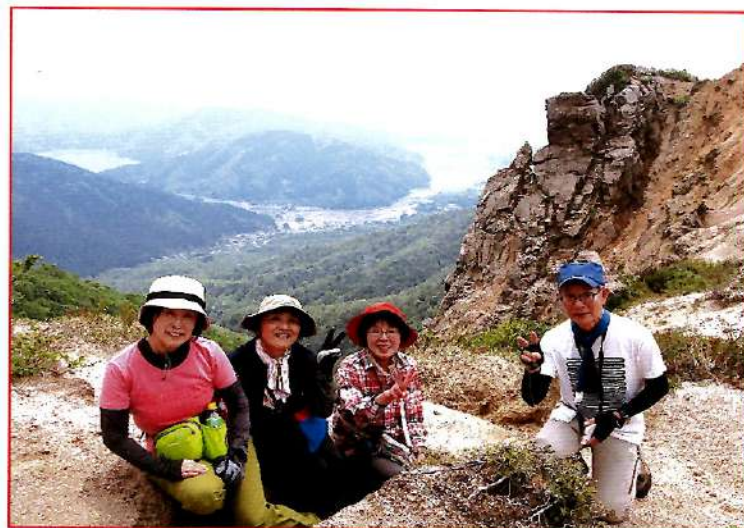
④ (ウツギの花とともに)



⑤ (赤坂山山頂)



⑥ (明王の禿)



赤坂山 & 青葉山 NO.2.



<2日目(青葉山)>

⑦ (若狭湾から見た青葉山)



⑧ (青葉山の東峰登山口)



⑨ (馬の背)



⑩ (東峰の山頂)



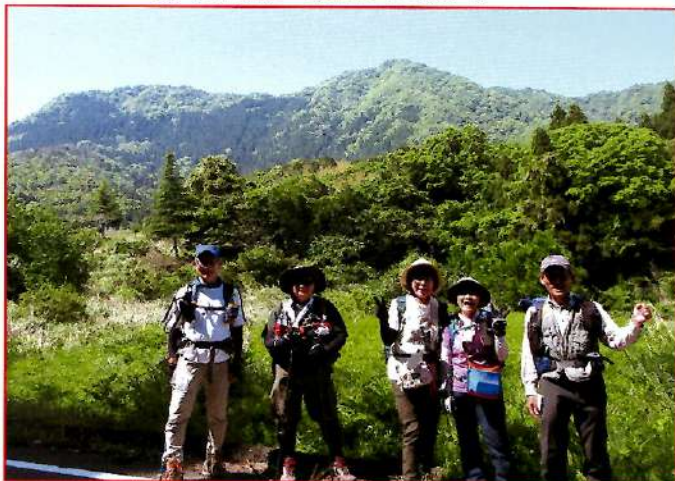
⑪ (難所)



⑫ (胎内くぐり)



⑭ (南側から見た青葉山)



⑬ (西峰の山頂)



赤坂山 & 青葉山

※(山行日) --- 2025 年 5 月 1 2 日 ~ 1 3 日

※(行程) [予定]

2025年 5月12日(月)~13日(日) 赤坂山 (823m)・青葉山 (693m) 弥生班

1日目

(450集合) 5:00出発

自宅 → 北コミセンター → 門真JCT → 吹田IC → 京都IC

(近畿自動車道) (名神高速) (名神高速)

(国道161号・湖西道路)

6:30(188k) 8:00 沢 → マキノ/高尾温泉駐車場 → 登山口 → 武奈の水平 → 栗柄峠 → 赤坂山

ETC3530円

ETC730円

若狭上中IC→小浜西IC

2日目

10:00~10:10 京峰 (893m) → 西峰 (882m) 昼食 → 松尾寺 → 熊野神社 → 高野

14:30~15:00 青葉山ハーバルデレジ → 舞鶴東IC → 綾部IC → 大山崎JCT → 久御山JCT

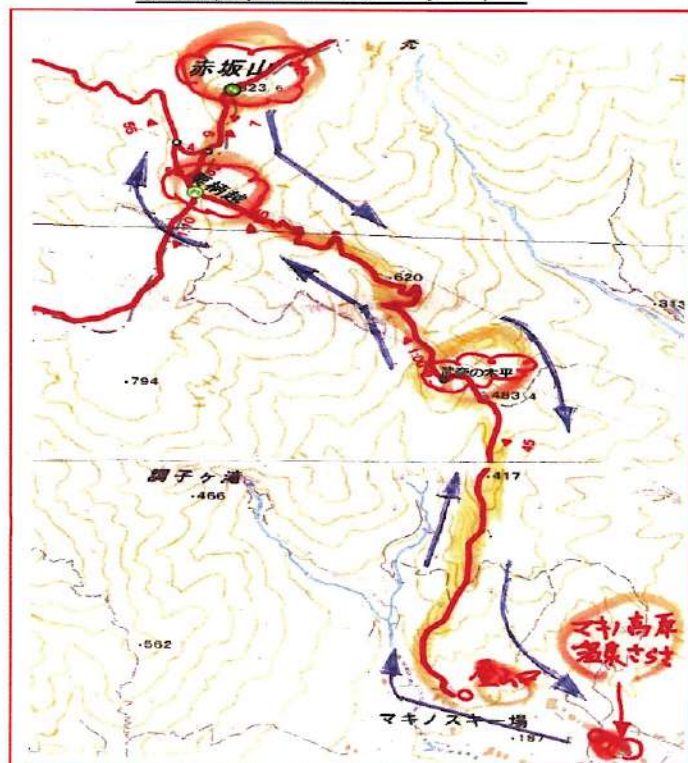
(舞鶴若狭道) (京都縦貫道) (京滋バイパス)

(第二京阪)

18:00 門真IC → 北コミセンター

(阪和道) ETC6340円

(赤坂山山 ロードマップ)



紀峰山の会 (弥生班)

(メンバー) -----計 6 名

大野、八木、大森、有本、北山、新延

(青葉山 ロードマップ)



※[はじめに]

(赤坂山)

○滋賀県高島市と福井県三方郡美浜町の境界にある山で、関西百名山の一つであり、「花の山」として有名で、ツツジやスミレ、カタクリなども自生しているなど植物が自然の姿を保つ緑豊かな山である。

(青葉山)

○美しい山容から別名「若狭富士」と呼ばれ、高浜町のシンボルである。

東峰（693m）と西峰（692m）の2つの峰からなり、見る方向から形が変わり、高浜から見る青葉山に沈む夕日は「日本の夕日百選」にも選ばれ、絶景である。

(写真1)

(メタセコイア並木)



・往路の途中にある新緑のメタセコイア並木。

(写真 2)

(マキノ高原登山口)



- ・高原で体操し、いつもの通り山行初めの記念撮影。

(写真 5)

(赤坂山の山頂)



- ・11時20分、登頂

(写真 3)

(マキノ高原を眼下に)



- ・花崗岩の滑りやすい斜面。下のマキノ高原は、冬にはスキー場のゲレンデとなる。

(写真 6)

(ランチタイム)



- ・登頂記念にまずは乾杯。晴天で眺めがよく、食欲が進む。赤坂山は草原が広がる。

(写真 4)

(ウツギの花とともに)



- ・赤坂山はウツギやカタクリ、サラサドウダンと色々な花が楽しめる。

(写真 7)

(明王の禿---その 1)



- ・赤坂山から明王の禿へ往復。明王の禿は、荒々しい崖っぷち。

(写真 8)

(明王の禿…その 2)



(写真 11)

(早朝散歩)



- ・ 6 時起床し早朝散歩。
小高い丘から若狭湾を眼下にヨガ体操。
晴天で眺めも最高!!

(写真 9)

(サラサドウダン)



- ・ 明王の禿の奥に健気に咲いていた。

(写真 12)

(若狭湾から見た青葉山)



- ・ ここからの眺めは「若狭富士」と呼ばれる。

(写真 10)

(高浜町で宿泊)



- ・ 下山後、福井県高浜町に車移動し 17 時に
宿へ到着。
若狭湾の海の幸を堪能。

(写真 13)

(青葉山の東峰登山口)



- ・ 8 時 30 分、青葉山ハーバルビレッジに到着。
登山届を提出し、東峰登山口を出発。

(写真 14)

(馬の背)



・眺めがよい。

(写真 17)

(難所——その 2)



(写真 15)

(東峰の山頂)



・10時30分、東峰に到着。展望なし。

(写真 18)

(難所——その 3)



(写真 16)

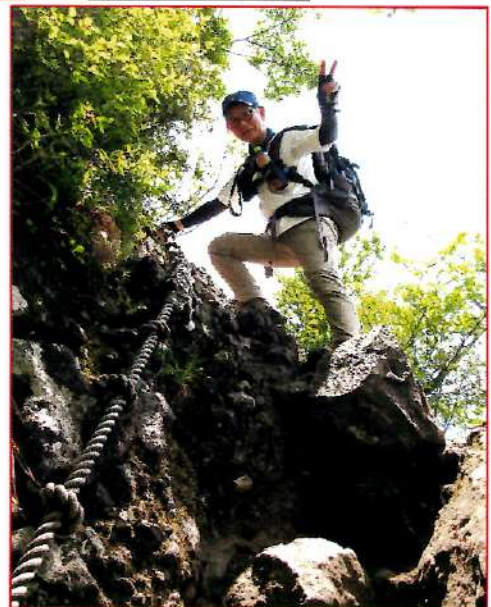
(難所——その 1)



・東峰から西峰のルートは、馬の背、岩登りがあり、梯子やロープと難所が続く。

(写真 19)

(難所——その 4)



(写真 20) (胎内くぐり)

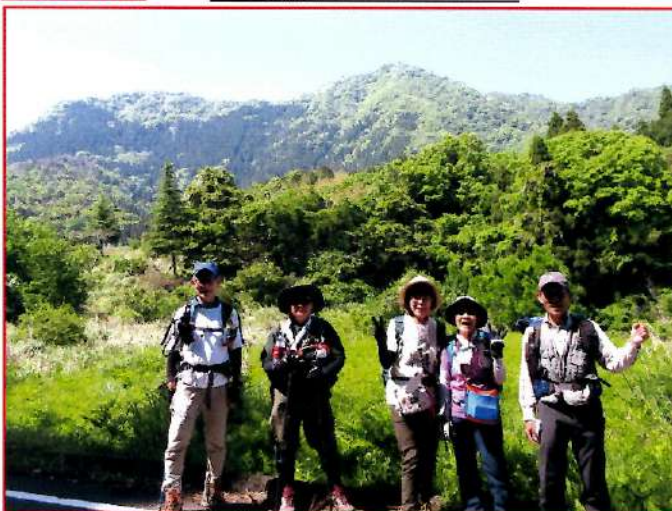


(写真 21) (青葉山の西峰山頂)



・12 時、西峰へ登頂

(写真 22) (南側から見た青葉山)



・松尾寺へ経由の予定であったが、遅れ気味であったため、今寺登山道へ迂回し下山。
ここからの青葉山は双耳峰となり、「丹後富士」と呼ばれる。

(写真 23) (ストロベリーフィールド)



・下山途中で見つけた群生。
15 時、駐車場に到着。
18 時 30 分、北コミセンターに帰着。

※(最後に)

(1 日目)

- 現地へ行く途中にメタセコイア並木があり、途中下車して新緑のマイナスイオンに浸り感動しました。
- 赤坂山の登山口でも広々したマキノ高原で爽やかな気分になりましたが、登り始めると急登続きで暑く、登頂に苦労した。
- 山行途中では、ウツギやサラサドウダンの花に癒され楽しめました。
- 赤坂山山頂付近は草原が広がり、展望も琵琶湖を一望でき爽快感を楽しめました。
また、明王の禿では荒々しい岩肌や切り立った断崖があり、スリル感を味わい、変化のある山行ができました。
- 車で福井県高浜町へ移動し、青葉山近くに宿泊。若狭湾の海の幸を堪能しました。

(2 日目)

- 前日の赤坂山山行の疲労感があったが、朝食前の海岸と丘の散歩でストレッチとなり晴天で爽やかな朝を迎えた。
- 青葉山は若狭富士と呼ばれるが、下界からは見る方向により山容が変わり、おもしろい山である。
- 東峰の頂上は狭く眺望がないが、西峰の頂上は若狭湾の展望が開け爽快感があった。
- 東峰から西峰へのコースは、鎖場や梯子を渡る難所があり、スリル感を味わった。
- 今回は、二日間天候に恵まれ、山容の違った山系を楽しみ会話と解放感のある山行を満喫した旅でした。